

## 2022 年“外教社杯”天津市大学生翻译竞赛初赛试题 (日汉互译组)

### 日译汉部分:

李大釗が文筆言論活動をはじめて（一九一三年）以来、彼の関心は、つねに自らの存在を規定する外的世界としての中国の現在のあり方、現状と、その世界のなかに存在する主体的自己に対する自覚に集中していた。彼の『選集』に目を通してみると、そこに集められている著作の多くは、彼が生きた現実の社会である中国の政治的、思想的状況に対する批判であり、改革への提言である。

いうまでもなく、当時の中国は、辛亥革命によって二千年来の専制体制は打ち倒され、アジアで最初の共和制国家が建てられたとはいえ、革命の成果は軍閥袁世凱と、それを背後から援助する帝国主義列強に奪われていたのである。清朝による専制的支配は崩壊し、いちおう民族革命による政治的改革はあったが、社会的変革はいまだなされず、共和制を行うための社会的、思想的基盤はほとんどないという状態であった。さらに、十九世紀末に、西欧資本主義諸国は、すでにその最高段階である帝国主義に発達しており、外からの圧迫はアヘン戦争以来ひしひしと中国をとりまき、国内の封建的諸勢力を利用して中国の植民地化を強化しようと図っていたのであり、内には旧体制を維持しつづけてきた物質的条件、精神的風土は、あいかわらず温存されていた。このような中国の現状は、若き知識人李大釗の前に、厳然として立ちふさがり、彼の存在を規定する枠組みとしてあったのである。なによりもまず、李大釗もそのような「時代の子」であったといえよう。

したがって、李大釗が知識人として生きてゆこうとするならば、自らをとりかこむそのような環境世界＝現実社会に対して、全く無関心に思弁的、観念的世界に逃避することは、中国における伝統的知識人のあり方としても不可能なことであった。すなわち李大釗が自己の思想を形成する前提として、彼の存在を規定し、決定づけるものとして、物質的基盤、歴史的状況が実在するのであり、その制

約のなかで、彼は関心を自らをとりまく環境世界である中国の現在の状態に集中した、といえる。

要するに、李大釗の出発点は、「現在の中国」、さらにそのなかに存在するところの「現在の自分」にあったのである。(中略)

つまり李大釗は、儒教を主軸とする一元的価値世界が崩壊し、旧体制の中国が解体した、そしてまた、共和制民国が確立されていない歴史的変革期において、自らの存在を、時間的空間的範疇のなかで把握しようと意図する。そこでは、自分自身がいったい如何なる存在であるか、そして自らが存在する時間的空間的範疇において、どのように行動し生きてゆくべきかという存在論的および実践論的な問いかけを、根源的に提起するのである。だがそれは、たんに個体的存在としての自分自身に対する問いかけとしての意味をもつだけでなく、自らの存在を規定する総体的存在としての中国に対しても、中国が現在どのような状態におかれているか、また今後いかに進むべきか、という問いかけとしての意味をもちうるものであった。けれども、時間・空間という範疇から自らの存在を論じようとする李大釗の時間論、宇宙論は、アカデミックな哲学論としてのそれではなく、現実の中国を変革するための実践哲学、という意図をもって書かれている。

## 汉译日部分:

大家有没有觉得，自己一刻都离不开手机了？而手机似乎比世界上绝大多数人都了解自己？

99 条+的未读消息或邮件，社交平台新收到的点赞与回复，“猜你喜欢”总是精准地踩中兴趣点，短视频推送总是下一个更精彩，“你或许感兴趣”的弹窗通知每一个都想点开……

手机里眼花缭乱的 APP 轮番上阵的个性化信息流，就像拥有“读心术”一般无比精准地击中你的隐秘心思。

于是，点击，滑动，浏览。

五分钟，五分钟，再五分钟，凌晨两点……即使第二天有早八的课，早九的班。

心理学家巴甫洛夫利用狗看到食物或吃到食物前流口水的特性，在每次给狗送食物之前摇动铃声。很快一段时间后，铃声一响，狗就开始分泌唾液。

在某种意义上，我们似乎也如巴普洛夫的实验对象，只不过是智能的，主动等待并积极创造着 APP 信息的重复刺激。

国际调研机构 DataReportal 联合 We Are Social 和 Hootsuite 发布报告称，全球网民平均每天使用互联网的时间是 6 小时 55 分钟。如果一个人每天的睡眠时长为 8 小时，那么在他清醒的时间内，他至少将 40% 的时间贡献给了互联网。而这只是一个平均数。

看每一眼手机的时候，我们或许会以“就一会儿”的心态安慰自己，但当无数的零碎时间叠加在一起，不得不震惊于投入其中的时间总长。

毕竟我们只是在瀑布一般流动的信息中，有意识或无意识地“打发”时间。这些信息甚至称不上食物，至多算是短暂的“情绪在场”。

但当这些左右着你喜怒哀乐的信息在你眼前，乐此不疲地、一遍遍地拨动铃声，条件反射般的你我则不停地留下唾液。

我们试图用这些小甜点般的内容喂饱空虚，填满欲望，但却没有发现，它们同时不断地勾起着我们新的欲望。凌晨两点熄灭手机屏幕后，所感到的，依然是空虚。

2013 年美国皮尤研究中心的数据显示，44% 的人睡觉时会把手机放在枕边，67% 的人即使根本没有消息提示也会非常频繁地查看手机。

相应地，一旦无法随时查看手机，使用者不仅仅是焦虑，还会感到无聊、沮丧、易怒和严重的不安全感。

被手机社交网络控制的我们、被大量信息团团包围的我们，还可以重新掌握生活么？

我们的爱好、思想、生活……被拆分成无数个数字碎片，散落在无数网站和平台上，就这样，一步步走向对自我的“数字异化”。

面对进化飞速的手机，人真的毫无抵抗之力了么？

在技术嵌入生活程度日益加深的现代社会，彻底地拒绝互联网和

手机与纵情投入或许都不是理想的应对方式。

使用但控制，靠近但游离

——划定自己的前台与后台，我们或许可以开始重新掌握对生活的控制权。

日汉互译组 We Test 系统六位考试码为：EVRWMM